



2006年  
新春

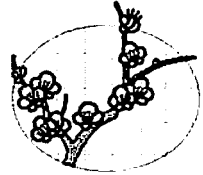
平和とくらしを守り

安全・安心の年に

**憲法9条を守ります 日本共産党**  
**庶民大增税は許しません**

 <p><b>都議会議員 大山とも子</b> 事務所 住吉町11-25 TEL 3357-3818 FAX 3358-5004 <a href="http://homepage2.nifty.com/tomoko-ohyama/">http://homepage2.nifty.com/tomoko-ohyama/</a></p>	
<p><b>日本共産党新宿区議団</b> 歌舞伎町1-4-1 TEL 5273-3551 FAX 3200-1474 E-mail BDS01998@nifty.com</p>	 <p><b>あざみ民栄</b> 市谷加賀町2-6-1-D-302 TEL/FAX 3260-1456 E-mail trojan@syd.odn.ne.jp</p>
 <p><b>あべ早苗</b> 新宿7-16-13 TEL/FAX 3202-8622</p>	 <p><b>雨宮たけひこ</b> 左門町12 ライジングプラザ 5A TEL 3341-0634 FAX 3353-5407</p>
 <p><b>笠井つや子</b> 北新宿3-20-1 パークハイム213 TEL/FAX 3369-6291</p>	 <p><b>川村のりあき</b> 西落合1-32-18 TEL/FAX 3950-8893 E-mail hokama1@k8.dion.ne.jp</p>
 <p><b>近藤なつ子</b> 戸山1-16-16-310 TEL 3200-5164 FAX 3200-5163 E-mail natsuko_kon86@muf.biglobe.ne.jp</p>	 <p><b>沢田あゆみ</b> 西早稲田2-19-1 TEL/FAX 3204-4491 E-mail sawada@jt2.so-net.ne.jp</p>
 <p><b>田中のりひで</b> 上落合1-1-15-302 TEL/FAX 3362-6326 E-mail norihide@be.to</p>	 <p><b>松ヶ谷まさお</b> 山吹町333 カネシティ 401 TEL/FAX 3269-0433</p>

**日本共産党新宿区議団ニュース** 2006年1月  
発行:日本共産党新宿区議団 新宿区歌舞伎町1-4-1  
ホームページアドレス <http://www.jcp-shinjuku.com>





# 耐震強度偽装問題

# 子どもたちの安全

## 区長に「緊急要望」を提出



耐震強度偽装問題は、大きな不安を広げています。日本共産党新宿区議団は、発覚後ただちに区議会の代表質問（11月25日）でこの問題を取り上げ、建築確認の民間まかせをやめて区のチェック体制を強化することを求めました。

12月20日には、中山区長に対し、2つの「緊急要望書」を提出。耐震強度偽装問題についての総合的な対策と、全国で痛ましい事件が続発しているもと、子どもたちの安全確保の対策を要求しました（写真）。

### 「緊急要望」の主な内容

#### 耐震強度偽装問題について

- 一、区長を本部長とする対策本部を設置して、●姉歯元建築士が関与した物件の調査結果の公表、●99年以降の区内の建築物について住民の要望に応えた点検と対策、●相談窓口の設置、●構造計算書などの再調査のための助成、●民間が建築確認した物件について区の恒常的なチェック、●専門資格をもった職員を増員など、総合的な対策を講じること。

- 二、国に、すべての建築物に自治体のチェックがはたらくよう、建築基準法の改正、被害者支援策、再発防止のための自治体の体制強化にかかる財政措置を要求すること。

#### 子どもの安全確保について

- 全庁的に取り組む体制の確立、●空き交番の解消、●学校選択制による学区外も含めた通学路・学童クラブからの帰宅経路の総点検、●冬休み期間中も含めた安全確保体制の確立、●ボランティアなどの協力もえた下校時、児童館・学童クラブからの帰宅時などの安全対策、●学童クラブの待機児童をつくらない、●GPS機能を活用し地域の協力もえた児童防犯システムの検討。

# 命の重さが何よりも大切にされる区政を みなさんといっしょにめざします

日本共産党新宿区議団は一昨年、集中豪雨被害にあった新潟県三条市（7月）と中越地震被災地の小千谷市（11月）へ救援ボランティア活動に行きました。その経験も生かし、災害に負けない新宿のまちづくりをめざして、全力で取り組んでいます。

### 災害対策

## 日本共産党のくり返しの要求で、 ついに住宅の耐震補強工事助成実現へ



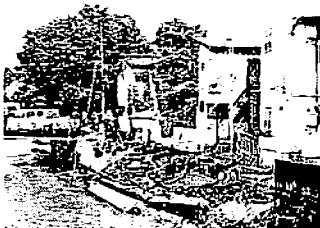
小千谷市で救援活動をおこなう共産党新宿区議団（04年11月）

日本共産党は、中越地震直後の区議会（04年11月）に、住宅の耐震補強工事助成のための条例を提案するなど、震災対策の強化をくり返し要求してきました。昨年3月の区議会では、耐震補強工事は「自己責任」と言う区長に、その必要性を再三説明しました。

昨年10月、ついに区は、耐震補強工事助成を「なるべく早期におこなっていききたい」と表明。11月の区議会では、耐震化支援事業の拡充を積極的に進めると答えました。

### 水害対策

## 現地の状況を生々しく伝え、 「住民の願いにこたえよ」と迫る



集中豪雨で崩壊した  
妙正寺川の護岸  
（05年9月）

昨年9月4日の集中豪雨は、新宿区内にも大きな被害をもたらしました。日本共産党は、ただちに現地に行つて、対策と救援活動に取り組みました。

直後の区議会では、日本共産党の質問で、区の初動態勢が大きく遅れたことが明らかに。日本共産党は、水害時の状況や被災者のみなさんの声を生々しく伝え、妙正寺川の時間降雨50mmに対応への一刻も早い改修、都・上流区との日常的な連携体制の強化、被災者支援などを強く要求しました。